



# 経営幹部対象 面談

|      |            |
|------|------------|
| 役職   | ビジネスディレクター |
| 国    | 日本         |
| セクター | 金融／銀行／会計   |

面接担当者： 貴社組織はどの程度 MSP のサービスをご利用ですか？また、それは IT のどの分野においてですか？

回答者： 当社組織は、主なインフラストラクチャの維持とサポートに AWS を利用していますが、システムをアップグレードし、ビジネスアプリケーションをクラウドに移行する取り組みの一環として Microsoft Azure を使い始める予定です。クラウドで利用した分だけ支払うことになるため、コスト削減を達成できると見込んでいます。

面接担当者： 今後 12～18 ヶ月間に MSP サービスを利用する意思決定には、他にどのような要素が影響すると予想されますか？

回答者： この先 12～18 ヶ月間に当社のすべてのインフラをクラウドに移行すること。クラウドインフラストラクチャは、ハードウェアの保守や、大規模地震によって引き起こされるインシデントにおける災害復旧に対し、優れたサポートを提供すると考えています。

MSP の主な利点は、ハードウェア保守や災害復旧に関し、より優れたサポートを得られるという点です。

インタビュアー： 貴社の社内 IT チームにおける最大のマイナス点は何ですか？

回答者： アナリティクスや人工知能、ロボットプロセスの自動化、クラウド技術のスキルに関するトレーニングを受けている人材にアクセスしにくいことが、当社の社内 IT チームで最大のマイナス点です。

インタビュアー： 貴社組織はデータをオンプレミスで、パブリッククラウドで、それとも両方で管理されていますか？

回答者： 現在時点ではオンプレミスとパブリッククラウドの両方でデータを管理しています。当社では 12～18 ヶ月間でクラウドに移行する予定で、クラウドでのデータ維持において MSP から支援を受けています。

インタビュアー： 貴社の既存の IT 戦略がうまく機能しているという自信をどのくらいお持ちかを、パーセント値でお答えください。また、どのような改善の余地があるとお考えですか？

回答者： 当社のクラウドインフラストラクチャは AWS によって管理されているので、コスト削減とクラウドでのデータ復旧に役立ちます。当社は、AI、RPA およびクラウドサービスの分野で十分なトレーニングを受けた IT 専門担当者が確保できるまでは、それらの分野について MSP からの支援を必要としています。

当社では、すべてをクラウドに移行しようとしている他、AI と RPA の展開にも重点的に取り組もうとしているため、マネージドサービスプロバイダーによるサポートを常に必要としています。

インタビュアー： 貴社組織における IT のどの点が、MSP ではなく必ず社内で管理されるべきだとお考えですか？

回答者： 当社ではシステムを独自で管理しようとしていますが、専門知識と技術的能力の欠如が問題になっています。これを解決するため、組織では、AI や RPA、クラウドなどの新たな可能性についての理解を深めるため、大学教員を招いたトレーニングセッションを実施しています。

専門家と技術的能力の欠如が問題になっていると痛感しています。